

ふりがな	とっとりけんりつとつとりにしこうとうがっこう	指定期間	27～31
学校名	鳥取県立鳥取西高等学校		

## 平成29年度スーパーグローバルハイスクール 目標設定シート

1. 本構想において実現する成果目標の設定（アウトカム）								
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標値(年度)
自主的に社会貢献活動や自己研鑽活動に取り組む生徒数								
a	SGH対象生徒:		112人	202人	240人	人	人	300人(31)
	SGH対象生徒以外:		134人	145人	0人	0人	0人	人
目標設定の考え方: 活動に取り組みたいと考えている生徒は多いことから、引き続き情報提供に努める。								
自主的に留学又は海外研修に行く生徒数								
アデレード、カンボジア シンガポール、平昌、シドニー、バーモント等								
b	SGH対象生徒:		30人	24人	54人	人	人	50人(31)
	SGH対象生徒以外:		21人	23人	0人	0人	0人	人
目標設定の考え方: 留学を考えている生徒の割合が4割近くいるため、その生徒の希望をかなえられるように連携を強化する。								
将来留学したり、仕事で国際的に活躍したいと考える生徒の割合								
231/817								
c	SGH対象生徒:		24%	24%	28.3%	%	%	50%(31)
	SGH対象生徒以外:		30%	21%	0%	0%	0%	%
目標設定の考え方: 留学などに興味がある生徒は多い。課題研究に取り組むことでより一層グローバルな視点を広げていく。								
公的機関から表彰された生徒数、又はグローバルな社会又はビジネス課題に関する公益性の高い国内外の大会における入賞者数								
全日本高校模擬国連、ハリメツセル、科学の甲子園、IT選手権								
d	SGH対象生徒:		30人	34人	49人	人	人	30人(31)
	SGH対象生徒以外:		15人	18人	0人	0人	0人	人
目標設定の考え方: 大会等の情報提供に努め、参加する生徒を積極的に支援する。								
卒業時における生徒の4技能の総合的な英語力としてCEFRのB1～B2レベルの生徒の割合								
e	SGH対象生徒:		7%	5.4%	7.0%	%	%	15%(31)
	SGH対象生徒以外:		8%	6%	0%	0%	0%	%
目標設定の考え方: 英語科で取り組んでいる事業を中心に、課題研究で英語を活用する機会をつくる。								
(その他本構想における取組の達成目標)								
f	SGH対象生徒:							
	SGH対象生徒以外:							
目標設定の考え方:								

1' 指定4年目以降に検証する成果目標								
	25年度	26年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	目標値(年度)
国際化に重点を置く大学へ進学する生徒の割合								
a	SGH対象生徒:		%	%	%	%	%	50%(34)
	SGH対象生徒以外:		42%	38%	%	%	%	%
目標設定の考え方: 課題研究を実施することで、大学が求める学力を身に付けさせ、生徒の進路実現を図る。								
海外大学へ進学する生徒の人数								
b	SGH対象生徒:		人	人	人	人	人	3人(34)
	SGH対象生徒以外:		1人	0人	人	人	人	人
目標設定の考え方: 課題研究や国際交流を通して生徒に自信をつけさせ、進学希望生徒を積極的に後押ししていく。								
SGHでの課題研究が大学の専攻分野の選択に影響を与えた生徒の割合								
c	SGH対象生徒:		%	%	%	%	%	50%(34)
	SGH対象生徒以外:		-	-	%	%	%	%
目標設定の考え方: 課題研究での研究から興味関心や探究心を育成し、進路選択につなげていく。								
大学在学中に留学又は海外研修に行く卒業生の数								
d	SGH対象生徒:		人	人	人	人	人	100人(34)
	SGH対象生徒以外:		-	-	人	人	人	人
目標設定の考え方: 課題研究や国際交流の経験から海外に興味関心をもち、自主的に行動する生徒を育成する。								

2. グローバル・リーダーを育成する高校としての活動指標（アウトプット）								
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標値(年度)
a	課題研究に関する国外の研修参加者数 <small>アデレード14 カンボジア16</small>							
	0人	13人	12人	14人	30人	人	人	25人(31)
目標設定の考え方: アデレード大学への生徒派遣を通して、グローバル・リーダーに必要な知的総合力を育成する。								
b	課題研究に関する国内の研修参加者数							
	0人	0人	630人	670人	690人	人	人	560人(31)
目標設定の考え方: 鳥取大学との連携を強化し、研究室訪問や課題研究における指導助言を仰ぐ。								
c	課題研究に関する連携を行う海外大学・高校等の数 <small>アデレード大学シドニー 大学春川高校安養高校 バックトゥック高校</small>							
	0校	1校	1校	1校	5校	校	校	3校(31)
目標設定の考え方: アデレード大学と春川高校を中心に、新たに連携できる大学・高校を探していく。								
d	課題研究に関して大学教員及び学生等の外部人材が参画した延べ回数(人数×回数)							
	0人	48人	58人	51人	98人	人	人	180人(31)
目標設定の考え方: 鳥取大学の教員とTAを定期的に招聘し、課題研究を充実させる。								
e	課題研究に関して企業又は国際機関等の外部人材が参画した延べ回数(人数×回数)							
	0人	1人	17人	55人	58人	人	人	20名(31)
目標設定の考え方: JICAなど国際機関の方をアドバイザーとして招聘し、課題研究を充実させる。								
f	グローバルな社会又はビジネス課題に関する公益性の高い国内外の大会における参加者数 <small>各種オリンピック、ポ スターセッション、S GH甲子園等</small>							
	8人	45人	59人	67人	138人	人	人	100名(31)
目標設定の考え方: 校外の大会等の情報提供の仕方を改善し、積極的に参加する環境づくりに努める。								
g	帰国・外国人生徒の受入れ者数(留学生も含む。) <small>アデレード大学生カ ンボジア生徒パーモ ント生徒受け入れ</small>							
	1人	1人	0人	0人	24人	人	人	3人(31)
目標設定の考え方: 従来通り、希望があれば積極的に受け入れる。								
h	先進校としての研究発表回数							
	0回	0回	2回	2回	2回	回	回	2回(31)
目標設定の考え方: 協調学習に関する研究発表を1回、課題研究に関する研究発表を1回実施する。								
i	外国語によるホームページの整備状況 ○整備されている △一部整備されている ×整備されていない							
	×	×	△	△	△			○
目標設定の考え方: 平成27年度からホームページの整備を行う。								
j	(その他本構想における取組の具体的指標)							
目標設定の考え方:								

<調査の概要について>

1. 生徒を対象とした調査について

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
全校生徒数(人)	959	958	952	914	882	0	0
SGH対象生徒数			952	914	882		
SGH対象外生徒数			0	0	0		